

(別紙様式)

(A3判横)

# 令和2年度 学校自己評価システムシート (県立熊谷高等学校)

目指す学校像	これからの日本と世界に貢献できる人材を育成する、伝統を重んじ、活力に満ちた進学校
--------	--

重点目標	1 高い志を育成し、第一志望の進路を実現させるため、学力向上に向けた組織的な取組を実践する。 2 本校の特色や魅力を効果的に広報するとともに、県内小中学生と積極的な交流を図る。 3 伝統に培われた教育活動全般(学業・部活動・学校行事)を通じて、厚みある人間力をもったリーダーに育てる。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	4名
	事務局(教職員)	10名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価				
年 度 目 標			年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	<p>○これまでの熊高教育の特長を受け継ぎ授業時間の確保に努めるとともに、単位制のシステムやSSH事業などを生かし、生徒の志を高める指導を実践している。</p> <p>更なる進学実績の向上を目指し、きめ細かな指導を充実させる必要がある。</p>	<p>○生徒の主体的な学習活動を引き出す授業の実践及び教員の指導力の向上</p>	<p>①きめ細かな学習ガイダンスや面接指導を行うことにより高等学校での学習方法を指導、早い時期から自主的に学ぶ姿勢を身に付けさせる。</p> <p>②アクティブラーニング的な授業を数多く展開し、生徒の学習意欲を高める。</p> <p>③授業公開期間を設定し、教員相互の授業見学や教員研修会を行う。</p>	<p>①平日に年次+1時間以上学習する生徒が各年次生全体の7割を超えたか(早朝、放課後含む)。</p> <p>②「生徒による授業アンケート」等で授業中に発言・質問をする生徒の割合が増えたか。</p> <p>③他の授業を見学した教員の割合が増えたか。研修会を実施したか。</p>
		<p>○単位制や様々な指定事業を活用した生徒の高い志の育成及び第一志望を実現させる進路指導の充実</p>	<p>①講演会・年次集会、キャリア教育等を通じて高い志を育成し、3年間を見通した組織的な取組により、「最後まで諦めさせない」指導を実践する。</p> <p>②SSH事業等の指定事業を有効に活用し質の高い学びの場を多く設定することにより、生徒の学習意欲を高める。</p>	<p>①現役合格者数が国公立大学70名、うち難関国立大学10名を超えたか。</p> <p>②事業参加生徒の意識、意欲について、該当するアンケート項目の肯定的意見の割合が昨年度より上昇したか。</p>
2	<p>○ホームページにおいて「赤薨」、「旬熊」を中心に教育活動の様子を発信し、総アクセス件数は8万件超であった。また、保護者や小学校・中学校をはじめとする地域社会と連携し、本校の信頼を高めるとともに、本校で学びたいと強く思う中学生を増やす取り組みを実践している。</p> <p>部活動について最新情報の更新頻度を高めるなど、多様な情報ネットワークを利用し本校の良さを更に積極的にPRする必要がある。</p>	<p>○積極的かつ効果的な広報活動</p>	<p>①最新の学校情報を迅速にHPに掲載するとともに、部活動の更新を含めた内容の充実を図る。</p> <p>②携帯メール一斉送信を有効活用し、必要な情報が確実に届くようにする。</p>	<p>①ホームページの総アクセス件数が10万件を超えたか。</p> <p>②携帯メール一斉送信により必要な情報を随時送信したか。</p>
		<p>○地域社会、小中学校との連携推進</p>	<p>①ボランティアを含め、生徒の地域行事への参加・協力や小中学校との連携をさらに推進する。</p> <p>②学校説明会及び中学生対象の部活動体験を複数回実施し、生徒同士の交流を図る。</p>	<p>①昨年度以上に地域行事や小中学校行事への参加・協力ができたか。</p> <p>②学校説明会、部活動体験等に参加する中学生やその保護者が昨年度より増加したか。</p>
3	<p>○「質実剛健」「文武両道」「自由と自治」の校風が学校生活に活力を与え人間力の形成・向上につながっている。</p> <p>組織的取組により、「真のリーダー」を目指し、知、徳、体をバランスよく育成する必要がある。</p>	<p>○「学力」「体力」「良識」の調和のとれた、将来、日本の社会をリードする生徒の育成</p>	<p>①「学業・部活動・学校行事の鼎立」を目指す。学業を第一義に、さらに部活動や学校行事の充実に取り組む。</p> <p>②社会で活躍する方の話を聴かせるとともに、「一流」のものに触れる機会を設けるなど、「真のリーダー」について考えさせる。</p>	<p>①生徒が主体的に学校行事や生徒集会を運営したか。部活動に加入する生徒の割合が増えたか。</p> <p>②事後の感想やアンケート結果等で、社会で貢献しようとする志を持つ生徒が増えたか。</p>

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和3年3月8日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>・生徒の学習意欲を高めるため授業力向上に努め、アンケート結果も良好である。SSHについてもできる限りの取組をして成果を上げている。</p> <p>・アンケートの質問項目自体が工夫されていて、生徒や保護者への啓発になっている。3年間を見通して、1年生のうちから準備している点はよいと感じた。夏休みの補習や図書館開放、放課後の教室開放など、生徒が学習にうちこむ環境が整備されている。良好な学習環境の維持。</p> <p>・外部講師による講演会や難関大学OBとの懇談会などは生徒の視野を広げることに役立っている。今後も積極的に企画してほしい。貴重な外部資源の有効活用。</p> <p>・ICTの活用やSSHをとおして英語力の向上を図るなど、主体的な学習の姿勢を養ってほしい。</p>	<p>・各教科のシラバスをHPに掲載し教育内容の透明化を推進した。「校長室より」等校内の情報発信増に伴うホームページ総アクセス数が大幅に増えた。今年の特長環境も勘案し、一斉送信等も活用して積極的に情報発信した。土曜授業すべて公開するなど公開日を倍増した。</p> <p>・コロナ禍の特殊事情も考慮し、遠くの地域や他県など生徒募集の更なる工夫が必要である。</p>
<p>・ホームページの工夫やメールの活用により、十分な広報活動が行われている。また、小中学校との連携を重視している点は評価できる。広報活動・連携活動が年々向上している。</p> <p>・生徒募集については、生徒からも情報発信させて、男子校のよいところや伝統校のアピールをすることができよう。また、同窓生、同窓会は本校の貴重な財産であり、様々な場面で智恵を借りることもできる。</p> <p>・部活動等を通じて、近隣の小中学校と連携している点は評価できる。連携をより深め、運動の楽しさ、音楽等の楽しさを通して、学校に一層興味を持ってもらう機会を増やすことはよいと思います。</p>	<p>・国や県の規定・指示に基づき各種行事を実施した。教育的効果を考え、行事によってはやり方を工夫し、満足度の高い行事を行うことができた。</p> <p>「熊ゼミ」活動など主体的な活動の生徒評価が高い。今後は時間の使い方も含め更に効率化を図りたい。</p>